

企業内研修のご案内

不識庵

fushiki-an



世界と日本を考える真のリーダーを育成する

不識庵



「企業内研修」による人材育成

不識庵のリベラルアーツ研修は「不識塾」から始まりました。この塾は異なる企業から毎年一名ずつ派遣された受講生が集い「知的格闘」を行う刺激的な講座であり、既に二十年以上続いています。

しかし、大手企業の場合、年に一名しか参加できないとなると、大勢の人材育成の要請には到底間に合わないというのが現実です。一方で毎年対象となる人員を決めて実施する「企業内研修」であれば、経営幹部（候補者）を選抜し、お互いに切磋琢磨させることで計画的に育成することが可能になります。

リベラルアーツ研修に対する需要が高まるにつれて、ここ数年、不識庵が受託する「企業内研修」が急速に増えています。中には、過去十五年以上にわたって、毎年、部長クラスの受講生二十数名を対象に研修を続けている企業もあります。また、役員に限定した「役員研修」も始まりました。

なぜ研修にリベラルアーツを採用する企業が増えているのでしょうか。事業において実務こそが最重要であることは、言うまでもありません。しかし、大企業ともなると活動が多岐にわたるため、上位の役職者になるほど、実際にすべての事業を経験することはむしろかしくなります。

さらに最近では事業の内容自体が大きく変わることも珍しく

ありません。変化に対応するため、部門横断的な人事異動や新規事業への参入も増えており、これまで経験したことのない領域で判断できるリーダーが求められています。このような事情を受けて、未経験の課題であっても判断できる力を養う場として、リベラルアーツ教育が注目されているのだと思います。

求められているのは、小手先のスキルではなく、判断の拠り所となる見識を磨くことです。人類文明が直面している根源的な問題を理解し、事業を通じてどのような世界にしたいのかについて自らの展望を持たない限り、大胆な経営刷新など望むべくもありません。「激変する世界で企業が果たすべき役割とは何か」「人類はいつたい何を目指せばいいのか」といった根本的な疑問に対して当事者意識をもって向き合わなければなりません。もちろん、答えは簡単には見つからないでしょうが、だからこそリベラルアーツの叡知を謙虚に学び、未来を切り拓いて行く必要があります。

研修をきっかけに受講後も探究し続けたい「答えのない問い」に出会い、生涯高め合うことのできる仲間と豊かな関係を築くこと、これがリベラルアーツを通じて実現したい私たちの願いです。

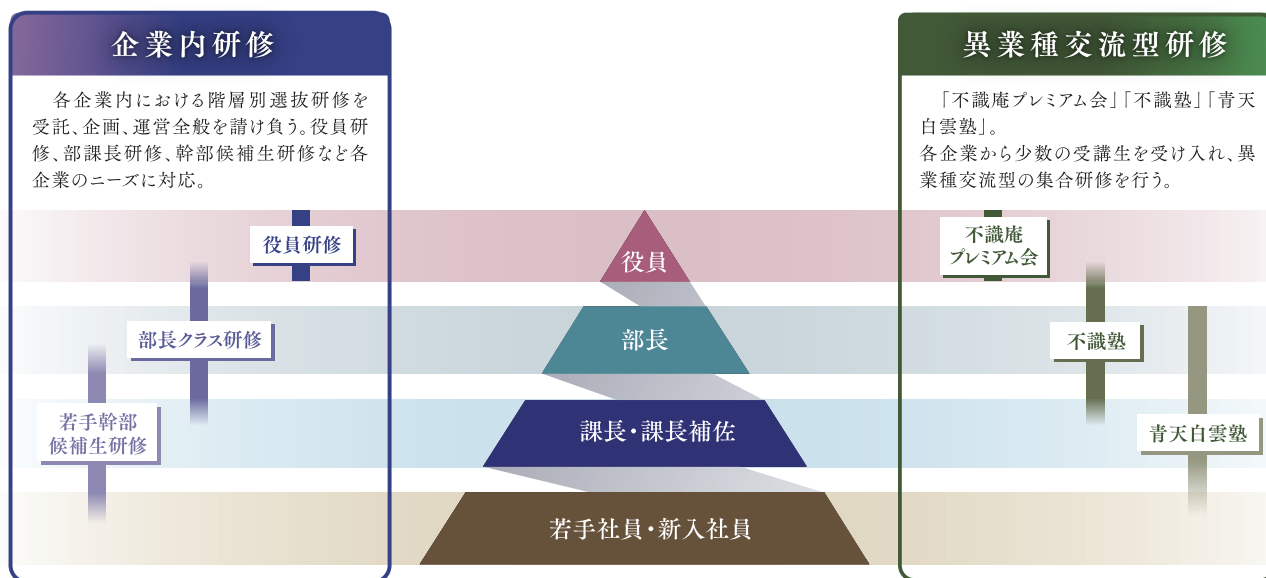
不識庵専務取締役
企業内研修担当

小川尚登

不識庵の研修プログラムの特徴

- ◆ 経営スキルではなく、リベラルアーツのエッセンスを組み込んだ本格的なプログラムを提供します。
- ◆ 受講者の年齢、テーマ、回数(月1回程度)など、各企業の育成ニーズに合わせたカリキュラムを提供します。
- ◆ 受講者は受動的な講義聴講ではなく、プレゼンテーションや討議など積極的な参加が基本になります。
- ◆ 状況に応じ、合宿やフィールドワークなどの実地研修を組み込むことができます。

リベラルアーツ研修の2つの体系





階層別研修について

すべての研修は選抜型の「階層別研修」となっています。どのような階層を対象とするか、人数や期間をどう設定するかなどはすべてご相談のうえ、決定します。以下、主要な階層別研修を例示します。

一 役員研修

役員のみを対象とした少人数の研修。役員研修の最大の特徴は受講される役員の皆さんに強い当事者意識があること。課題に対して、我が事として、真剣に議論し、学んでおられます。組織の中で影響力のある役員の皆さんの変化が会社が大きく変化することへと繋がります。

二 部長クラス研修

近い将来、役員になるであろうと嘱望されている部長クラスの研修です。受講者の数は各企業によって異なりますが、十数名から二十数名程度です。人数を増やしすぎると、一人一人が十分に発言する時間が取れないなど、効果が低減します。

三 若手幹部候補生研修

四十歳前後で、将来を嘱望されている幹部候補生を対象にした研修。若いうちに将来性のある幹部候補生にリベラルアーツに触れていただくのは、非常に育成効果が大きく、また、会社の知的雰囲気にも良い影響を与えます。

国宝 - 絵画 | 明恵上人像 [高山寺 / 京都]

学問がよく出来ると評判高い明恵上人のことを聞きつけた後鳥羽上皇が、高山寺を明恵に与え、そこを学問寺とするように命じた。表紙の「鳥獸戯画」は、明恵死後の作であるが、作者は弟子によるものとされている。人間、自然物に分け隔てのない明恵の寛大な思想はリベラルアーツと親和性が高い。

カリキュラムの基本的枠組み

世界と日本の歴史・宗教・思想を学び、変貌する資本主義世界、AIなど科学の進歩がもたらす文明的変化を踏まえて最終的に自社のあるべき姿について構想するのが、基本的な構成です。

受講者には、テーマごとに事前に数名のチーム単位で徹底的に議論していただき、その見解を順次発表していただきます。



各講座の流れ

講座当日は、受講者の発表から始まります。

発表に対する質疑応答の後、講師による講評と講義へと進みます。





鳥獣戯画_甲卷十七-十八

組織概要

名称	株式会社 不識庵	住所	東京都千代田区内神田1-14-4 4F
創業	平成22年(2010年)2月22日	電話	03-3292-0320
代表取締役	中谷巖	お問い合わせ	office@fushikian.jp
活動内容	大手企業役員向けの「不識庵プレミアム会」、部長クラス対象の「不識塾」、中堅ビジネスリーダー向け「青天白雲塾」に加え、個別企業のニーズに応じた企業内研修(中堅管理職、部長研修、役員研修など)についても随時、相談に応じております。		

塾の詳細、応募方法については、ホームページも合わせてご覧ください。 www.fushikian.jp